

第二十七條 弔祭料及死亡手當並ハ左ノ額中ニヨリ之ヲ支給ス

一、弔祭料 金五拾圓以上

第二十八條 弔祭ノ爲メ不長發扶トナリタル者ニハ其住居ニヨリ八
白圓以上ノ手當並ヲ支給ス

第二十九條 弔祭ノ爲メ不長發扶トナリタル者並ニハ別條
手當並ノ外延氣血時ノ給料半額日分ノ五十以上ノ養老
金ヲ支給ス

第三十條 三ヶ年以上勤続シタル者ニシテ死亡シタルトキ又ハ
延氣セントスルトキハ左記ニ依リ手當並ヲ支給ス

一、三ヶ年勤続ノ者ニ對シテハ延氣血時ノ日給六十日
分以上尙一ヶ年ヲ増ス毎二日給三十日分ヲ増給ス

二、三ヶ年勤続ノ者ニ對シテハ延氣血時ノ日給三百六
十五日分以上尙一ヶ年ヲ増ス毎二日給三十日分ヲ増給

ス又ヒムヲ得サル半成ニヨリ延氣血時タルトキハ左記ニヨ
リ手當並ヲ支給ス

一、勤続三ヶ年未満ノ者ニ對シテハ一ヶ年ニ對シテ延氣血時
ノ日給六十日分以上ヲ給ス

二、勤続三ヶ年以上ノ者ニ對シテハ延氣血時ノ外ニ其三倍
以上ノ金額ヲ支給ス

十、延氣血時者ノ勤続三週以上ニシテハ延氣血時日給ノ二分ノ一以
上ノ救済金ヲ給與スルコト但共ノ給與引續キ三ヶ月以上ニシリタ
ルトキハ其後ノ給與額ヲ日給三分ノ一迄減スルコトヲ得

十一、俱親血ヲ一取從業員ニ歸放被用セシムルコト

十二、作業服ノ支給ヲ從業員全放ニ及ホスコト

十三、今回ノ要求交渉中並ニ其解決後ニ於テ一切犠牲者ヲ山サマルコ
ト

附則記十三個條項ノ要求ハ大正十年五月一日ヨリ實施スルコト